

日本株：米国株の大幅下落を受け不安定な展開

■ 前日の米国株大幅安を受け大幅反落

25日の日本株市場は前日の米国株の大幅下落（NYダウで▲2.4%）を受け大幅反落、日経平均株価は前場で一時下落幅が800円を超え、今年4月以来となる21,282円をつけました（図1）。同株価は200日移動平均の22,480円を大幅に下回るなど、不安定な展開が続いています。

■ リスク回避の動きが強まる

米国株は半導体など企業決算への失望から業績懸念が強まり大幅続落、S&P500とNYダウは年初来の上げを消失、VIX指数は今年2月12日以来の水準に上昇しています（図2）。国内の企業決算でも業績の上方修正期待がしぼむなか為替市場で円高が進むのかが注目されます。大企業の今期為替想定レートは1ドル=107.70円であるため、ドル円相場が現水準を維持できるかが重要となります。

■ 株式市場は冷静さを取り戻せるか

日経平均予想PERは12倍前半に低下し、今年3月23日の12.22倍に次ぐ低さとなった模様です（図3）。また利益回りが8%を超えるなか長期金利は米:3.10%、日:0.12%に低下しており、過去と比較して株価の割安感は際立っています。月末にかけ本格化する国内企業決算で今年度予想EPSが上方修正されれば、株式市場は冷静さを取り戻し反転上昇が期待できるとみています。（向吉）

【図1】24日の米国株大幅下落を受けて、日経平均株価は21,000円台前半に下落



注) 直近値は日経平均株価が2018年10月25日前場引値、NYダウが同年10月24日終値。
出所) Bloombergより当社経済調査室作成

【図3】日経平均の予想PERは13倍割れ、割安感は強まっており今年度の上半期決算に注目



注) EPSは一株当たり利益、PERは株価収益率（株価=EPS×PER）。直近値は2018年10月24日。予想EPSは日経平均株価を予想PERで除して算出。予想PERの平均は2014年以降で算出、上下限は1倍の標準偏差。

出所) Bloomberg、日本経済新聞より当社経済調査室作成

【図2】VIX指数が上昇、リスク回避の動き強まる



注) 直近値は2018年10月24日。VIX指数（ボラティリティ・インデックス）はS&P500対象のオプション取引を元に算出され、投資家心理を示す数値として利用、先行き不安が生じれば上昇する傾向。

出所) Bloombergより当社経済調査室作成

本資料に関してご留意頂きたい事項

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために三菱UFJ国際投信が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 各ページのグラフ・データ等は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。
- 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の三菱UFJ国際投信戦略運用部経済調査室の見解です。また、三菱UFJ国際投信が設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。

本資料中で使用している指数について

「日経平均株価」に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。
VIX指数は、シカゴ・オプション取引所が所有する登録商標です。



三菱UFJ国際投信

三菱UFJ国際投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会